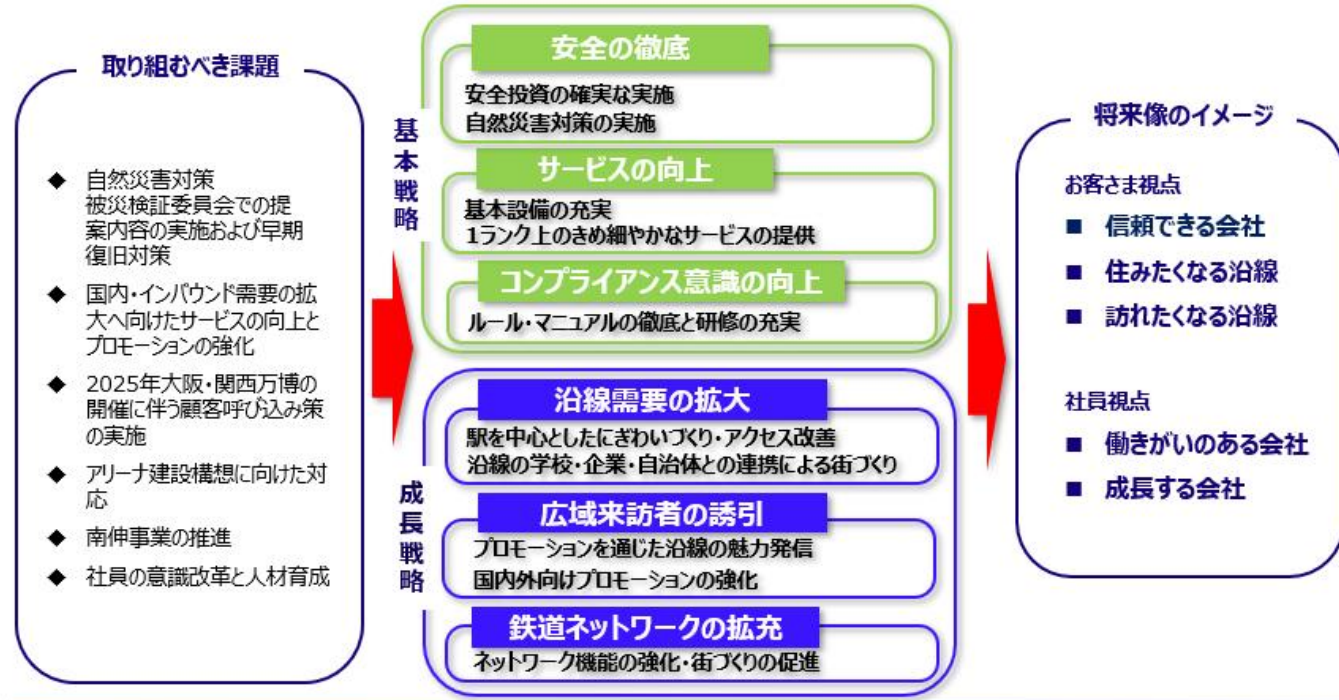


1. 新「中期経営計画2020-2024」の全体像

2029年の南伸開業など、長期的な視点も見据えながら、2025大阪・関西万博開催（2025年4月）に向けて、取り組むべき課題を確実に実行するため、2020年4月～2025年3月を期間とした新中期経営計画を策定することとしました。



2. 数値目標

財務目標 設備投資計画の実現と南伸に向けた投資への備えのために、営業活動で生み出されたキャッシュフローであるEBITDA（営業利益+減価償却費）を財務目標とします。

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
EBITDA	47億円	48億円	48億円	49億円	49億円
営業利益	27億円	25億円	20億円	17億円	16億円

設備投資計画 2022年度までは、更新投資により、投資額が大きくなってまいります。

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
車両	10億円	30億円	40億円	-----	-----
安全投資等	28億円	35億円	29億円	11億円	22億円
南伸事業	1億円	3億円	3億円	13億円	16億円
計	39億円	68億円	72億円	24億円	38億円

アリーナ建設構想の計画が決まり次第、必要な投資について検討し実施してまいります。

長期財務目標 南伸に伴う初期投資で減価償却費などが増大いたしますが、開業後も黒字経営を維持してまいります。

財務目標項目	2019年度(見込み)	2024年度	2029年度
営業収益	114億円	118億円	135億円以上
減価償却費	20億円	33億円	50億円以上
営業利益	27億円	16億円	10億円以上
EBITDA	47億円	49億円	60億円以上

(参考) 南伸開業

参考1. 現「中期経営計画」の3カ年（2017-2019）の振り返り【数値目標】

【評価】

- 売上高は、沿線人口の増加や大阪国際空港の利用者増などで、計画を上回る売上高を達成。
⇒ 2017年度：112億円（実績） 2018年度：113億円（実績） 2019年度：114億円（見込み）
- 可動式ホーム柵などの安全投資は計画どおり実施しています。投資計画191億円に対して168億円達成見込み。車両の更新は、2020年度以降へ変更しました。
⇒ 2017年度：23億円（実績） 2018年度：53億円（実績） 2019年度：92億円（見込み）
- 売上高人件費率は、概ね21%で推移しており、計画を達成。



（参考） 現「中期経営計画」の数値目標

売上高	設備投資額	売上高人件費率
毎年度110億円以上	2017年度～2021年度 290億円 安全投資：170億円 サービス投資：120億円	25%以下

参考2. 現「中期経営計画」の見直しの背景と新たな課題

